

総務分科会会議録（要旨）

○開催年月日 平成29年7月4日（火）

午前10時00分 開会

午前11時55分 閉会

○場 所 第3常任委員会室

○出席委員（8名）

| | |
|-----|------|
| 委員長 | 平良眞一 |
| 委員 | 石川慶 |
| 委員 | 桃原功 |
| 委員 | 伊波一男 |
| 委員 | 知念吉男 |

| | |
|------|-------|
| 副委員長 | — |
| 委員 | 佐喜眞進 |
| 委員 | 上地安之 |
| 委員 | 我如古盛英 |

○欠席委員（1名）

| | |
|------|-----|
| 副委員長 | 宮城克 |
|------|-----|

○市当局出席者（3名）

| | |
|---------|-------|
| 基地政策部次長 | 多和田功 |
| 基地渉外係長 | 真境名由誠 |

| | |
|--------|------|
| 基地渉外課長 | 伊佐英人 |
|--------|------|

○議会事務局職員出席者 伊佐 真也

○本日の分科会の協議日程

- (1) 米軍機飛行に伴う地デジ受信障害対策事業について、追加調査及び対象地域の拡大をした上で事業を再開するよう要請していただきたい。
- (2) 現在、米軍ヘリによる訓練は県内全域で行われているため、防衛局に対し、騒音エリア見直しについて要請していただきたい。
- (3) 防音工事について、市内全域を対象地域とするよう沖縄防衛局へ求めていただきたい。

総務分科会

平成29年7月4日（火）

○平良眞一 委員長 総務分科会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

【議題】

「米軍機飛行に伴う地デジ受信障害対策事業について、追加調査及び対象地域の拡大をした上で事業を再開するよう要請していただきたい。」

～本市の現況等の確認～

米軍機飛行に伴う地デジ受信障害対策事業について

○基地渉外係長 当該事業については、平成19年頃から本市の方に声が寄せられていた。その市民の声を受け、平成23年1月に沖縄防衛局にて市内全域で概要調査を行い、野嵩、普天間、新城の一部地域において地上デジタル放送受信障害が確認できたため、対策を講じる結論に至り、平成23年に防衛省より10割補助を受け、対象となる野嵩、普天間、新城の一部地域900戸、2,000世帯に障害対象事業を実施し、586件の申し込みを受けている。

当該事業の設置費用は、防衛省の10割補助を活用しているが、ランニングコストは市の単費で負担している。市民の自己負担はない。

平成23年度にふたたび防衛省の10割補助を活用し、市内全域を対象に受信状況を調査し、一部地域において受信障害が起きていることを確認の上、調査結果を防衛省へ報告し、要請したが受信障害対象区域の拡大に繋げることはできなかった。

平成24年から平成27年にかけて市単独で軍転協や推進会議において現状説明や対策を求めている。

～質疑・応答～

○桃原功 委員 海軍病院の建設に伴う影響により、地デジ受信障害が発生したと記憶しているが、当該事業との関係について伺いたい。

- 基地政策部次長** 海軍病院の件については、アナログ放送時に建築確認上、検査したもので当該事業とは異なる。
- 桃原功 委員** オスプレイ等の米軍機飛行に伴う地デジ受信障害対象区域以外の市民から苦情等を受けているのか伺いたい。
- 基地渉外係長** 地デジ受信障害に関する苦情の件数として平成23年度は324件、平成24年度72件、平成25年度37件、平成26年度28件、平成27年度18件、平成28年度15件、平成29年度6月末時点で4件の地デジ受信障害に関する苦情の報告を受けている。苦情の中には、台風や接触不良など米軍機の飛行による影響とは直接関係ない報告もあった。また、平成25年度に防衛局による市内の受信状況調査を行い、49件を個別訪問し、そのうち44件は米軍機が直接の原因であるということが確認できなかったことから対象区域の拡大に繋げることはできなかった。今後防衛局にて調査を行うこととなった際にはリスト化して対応してまいりたい。
- 桃原功 委員** 苦情件数が年々減少しているが、すべて米軍機飛行に関する受信障害の苦情件数なのか伺いたい。
- 基地渉外係長** すべて米軍機が原因となる件数である。
- 桃原功 委員** 平成25年度に調査をした49件については、野嵩、新城、普天間以外の場所から受けたものなのか。また、何らかの措置を行ったのか伺いたい。
- 基地渉外係長** 沖縄防衛局による調査の前に米軍機飛行に伴う地デジ受信障害の苦情があった件数であり、市内全域からとなる。また、調査の結果、追加措置は行っていない。
- 桃原功 委員** 当該事業はすでに終了しているが、苦情がある市民に対して、周知方法を伺いたい。
- 基地渉外係長** 苦情は、現在も随時報告を受けている。また、当該事業が終了したことや対象地域をホームページ上で周知に努めている。
- 桃原功 委員** 沖縄防衛局や米軍から米軍機飛行に関するマニュアルなどの資料提供はあるのか。
- 基地渉外係長** 米軍等より資料を提示されたことはない。
- 桃原功 委員** 飛行実態の把握のため資料要求しても良いと考える。また、市民へ受信障害に対する影響の周知に努めていただきたい。
- 上地安之 委員** 平成23年度、平成25年度の2回にわたり沖縄防衛局が調査を実施しているが、当該事業の対象区域以外で受診障害はあったのか伺いたい。
- 基地渉外係長** 平成25年度に苦情を受けた49件のうち調査依頼を受けた44件は、

米軍ヘリの飛行による影響が原因であった。

- 上地安之 委員** 49件以外の調査を実施していない理由について伺いたい。
- 基地渉外課長** 基地被害110番の中で受けた苦情の中には住所等特定ができない方や調査拒否、予算執行上の理由により、49件の調査となった。
- 上地安之 委員** 実態把握した上で調査すべきだと考えている。軍転協にどのように予算措置や対策について要請はしているのか。
- 基地渉外課長** 軍転協の幹事会において、地デジ受信障害に対し解決されていないことは把握しているが、細かい内容についての議論までは至っていない。
- 上地安之 委員** 受信障害において沖縄防衛局による調査を行い、米軍機飛行が直接の影響は確認出来ていないという調査結果がでていますが、ほかに声が上がっているのも事実であることから軍転協から沖縄防衛局に具体的に対策、措置をどのように取り組んでいくのか。
- 基地政策部次長** 平成23年度、平成25年度の2回にわたり沖縄防衛局で調査をし、沖縄防衛局として整理がついているということかもしれないが、実際に苦情を受けていることから、沖縄防衛局に対し調査の実施を求めてまいりたい。
- 知念吉男 委員** 野嵩、普天間、新城の一部地域が当該事業の対象区域と指定されているが、反対の位置の上大謝名、真栄原地区などは苦情がなかったのか。
また、本市で独自に調査を実施したのか。
- 基地渉外係長** 市内全域を対象に調査を行い、特に北側が影響を受けているとの調査結果から北側が対象区域となっている。また、南側については米軍機飛行の影響が断定できないとの結果を受けている。
- 知念吉男 委員** 伊佐区からも苦情があったのか伺いたい。
- 基地渉外係長** 資料が手元にないため、回答できない。
- 知念吉男 委員** 受信障害がある地区の市民に対し、調査を受けていただくよう事業の説明をし、防衛補助を受けられるよう市民に伝え、協力を得ていただきたい。
- 基地政策部次長** 騒音や受信障害に対し、市民生活に直結している部分があり、問題解消に向けて努めてまいりたい。また、一般会計での対応ではなく、国からの補助で対応していただくよう要請もしてまいりたい。
- 石川慶 委員** OCNの接続に関する受診提供について伺いたい。
- 基地渉外係長** 一般的な契約ではなく、NHK 2波、民放 3波の地上波 4局を受診視聴できる環境整備を提供している。
- 石川慶 委員** 受信障害の件数が減少している要因のひとつとして、個人が○

CNと契約を行っている影響もあるのではないかと。

- 基地政策部次長** 要因のひとつとして考えられる。また、ブースターの設置も含め、国に対し受信障害の実態調査や補助の要請をしてみたい。
- 我如古盛英 委員** 国に対し、米軍機が住宅地上空を飛行した航跡調査も合わせた新たな調査方法を行うなど、丁寧な調査を求めている。
- 基地渉外課長** 設備の不具合等もあったことから、1件1件調査を行っていただくよう沖縄防衛局に対し要請したい。
- 伊波一男 委員** 野嵩・普天間・新城の3地区の一部である約900世帯は当該事業を実施し、解決したと理解してよいか。
- 基地渉外係長** 苦情等是对応し、理解したと回答は受けている。
- 伊波一男 委員** 飛行経路が異なっている場合や平成25年度より飛行回数、住宅地の増もあることから、定期的な調査を行い、対象地域以外の方に対しても補助の対象となるよう調査方法を検討するよう沖縄防衛局に要請していただきたい。
- 基地政策部次長** 平成25年度で調査が終了していることから、再度調査を行うよう沖縄防衛局への要請や、定期的な調査もできるかどうか調査研究してみたい。

【審査結果】

継続審査とする。

○**平良眞一 委員長** 暫時休憩いたします。（午前10時50分）

○**平良眞一 委員長** 再開いたします。（午前11時00分）

【議題】

「現在、米軍ヘリによる訓練は県内全域で行われているため、防衛局に対し、騒音エリアの見直しについて要請していただきたい。」

「防音工事について、市内全域を対象地域とするよう沖縄防衛局へ求めている。」

～本市の現況等の確認～

住宅防音工事の事業概要及び補助額や対象範囲について、米軍ヘリによる訓練

の把握及び防衛局が示す本市の騒音エリアの範囲について

～質疑・応答～

- 桃原功 委員** 普天間基地が街の真ん中にあるが故に、騒音による防音工事の対象地域の拡大について国へ要請したことがあるのか、伺いたい。
- 基地渉外課長** 普天間飛行場負担推進会議及び作業部会において取り組んでいるところである。
- 桃原功 委員** 防衛省からはどのように回答を受けているのか。予算上厳しいのか、ほかに理由があるのか伺いたい。
- 基地渉外課長** 会議で検討している最中である。
- 桃原功 委員** 基地特で厚木市と綾瀬市に視察へ行くのだが、そこでは市民からの要請か把握していないが、コンターの拡大を図っている。同様な事例について当局は把握しているのか。
- 基地渉外課長** 内容を把握していないため、調査研究してまいりたい。
- 桃原功 委員** 航路の問題もあるが、飛行回数だけではなく、夜間飛行の増加により騒音被害もふえている。コンターの見直しについての動きや騒音、基地負担軽減に関する問題について取り組んでいただきたい。
- 上地安之 委員** 市民の意見としては、防音工事の対象区域があることについて疑問を感じているのは事実である。そこで、国に対し要請をしたことがあるのか伺いたい。
- 基地渉外課長** 推進会議において、5年以内の運用停止を初め、騒音のデータを示しながら、防音工事の件を訴えてはいるものの、明確な回答はいただけていない。
- 上地安之 委員** 住宅の防音工事の助成に関して関係法律にて防音工事の区域を75W以上区域と定めていることから、70W以上の区域を対象としたところはないのか。また、再度調査の見直しを行うのも良いことだが、厚木市では対象範囲が拡大する区域もあったが、逆に対象から外れる区域もあったことから、市内全域が対象となる新たな方法を検討し、要請していただきたい。
- 基地渉外課長** 調査研究してまいりたい。

【審査結果】

継続審査とする。

○平良眞一 委員長 本分科会を閉会いたします。

(閉会時刻 午前 1 1 時 5 5 分)